



第19-118号

2020年2月4日

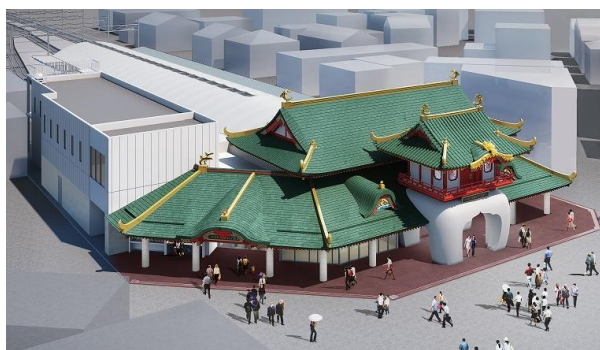
本格的な竜宮造りの技法で造られた駅舎外観がお目見え 2月28日、片瀬江ノ島駅新駅舎の一部供用を開始 ～品格ある駅舎と遊び心のある装飾が皆さまをお迎えします～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2020年2月28日（金）、改良中の片瀬江ノ島駅の駅舎外観工事を概ね完了し、本設改札など新駅舎の一部供用を開始します。

新駅舎の外観は、神社仏閣の技法である竜宮造りを取り入れた本格的で品格のある造りとしており、細部にまでこだわった装飾品の数々が遊び心を加えています。竜宮造りの特徴である建物の上部には、五頭龍と天女の伝説から、窓ガラスに天女を描き、5か所に龍をあしらっています。また、屋根上5か所にかわいらしいイルカの像を設置しています。改札口をくぐったコンコース内は、天井に約15メートルの迫力ある龍の彫刻がお出迎えし、大屋根の梁に使用した神奈川県産の杉や檜によって木の温もりがあふれる空間としています。

駅舎外観に加えて、コンコース内の工事も進捗しており、既に使用しているトイレに加えて、7通路※の本設改札の使用を開始します。※新駅舎完成後は8通路になります。

片瀬江ノ島駅改良工事は、2018年2月に着工し、従前の竜宮城の雰囲気をもった駅舎から本格的な竜宮造りの駅舎へ生まれ変わるほか、コンコースの拡張やトイレの全面リニューアルなど、機能面の大幅な向上を目指しています。今後、駅務室や外構工事を行うとともに、皆さまによりお楽しみいただける仕掛けをつくります。改良工事の完成は本年5月を予定しており、世界中から訪れるゲストをお迎えします。



片瀬江ノ島駅 駅舎完成（イメージ）



片瀬江ノ島駅 現況（2020年2月1日撮影）



片瀬江ノ島駅 旧駅舎外観

片瀬江ノ島駅新駅舎の一部供用開始の概要は下記のとおりです。

記

- 1 対象駅舎 小田急江ノ島線 片瀬江ノ島駅
(所在地：神奈川県藤沢市片瀬海岸2-15-3)
- 2 供用開始 2020年2月28日(金)
- 3 供用箇所
 - (1) 建物外観および改札内コンコース(一部工事中)
 - (2) 本設改札口2か所
仮設改札(5通路)から本設改札(7通路 北側4通路/南側3通路※)となります。
※新駅舎完成後は南側4通路となり、計8通路になります。
- 4 今後の予定
本年5月完了に向けて、駅事務室、外構等の工事を進めます。

トイレのリニューアル(2019年12月から供用開始済)

全面リニューアルにより、男性トイレ、女性トイレともに個室数を増設したほか、多目的トイレを増設し2か所としました。さらに、女性用パウダーコーナーを新設するなど、利便性を向上しました。

【参考】片瀬江ノ島駅の概要

- | | |
|----------|---|
| 開設日 | 1929年4月1日(江ノ島線営業開始にあわせて開設) |
| 平均乗降人員 | 21,217人/日(2018年度) |
| 関東の駅100選 | 1999年から2004年の間、運輸省(2000年からは国土交通省)関東運輸局管内が「鉄道の日」記念行事の一環として公募等で募集し、選定した関東地方の特徴ある100の鉄道駅一つとして1999年に選定されています。 |

以上